

※皆様の中からのご意見については、なるべく書いていただいた通りの表現で記載しています。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
1	市民アンケート調査	これからのまちづくりについてご意見ご要望	—	津波の時の避難所まで遠くて、歩けない時近くの高い所へ行きたいが、トイレ等がないし、休む所がなくて不安。もう少し高齢者にやさしさがほしい。避難訓練にも歩けないので参加出来ない。	避難することが難しい高齢者や障がいを持った方なども、円滑に避難することができる環境の整備は必要不可欠であると考えております。 防災等を担当する課と協力しながら取り組んでいきます。
2	市民アンケート調査	これからのまちづくりについてご意見ご要望	—	シャッター街にならないように、空き店舗で「高齢の方がおしゃべりできるカフェやカラオケ」、「子育ての方々が集まりやすい場所」、「短時間の子供領かり」、「短時間のバイト紹介(旅館・ホテルのそうじ等)」、「学生の学習スペース」、「プログラミングなど若い方向けの講座」等、短時間でも利用でき、好きな時間に来られる場所があると活性化に繋がると思う。	たくさんアイデアをいただきました。ありがとうございます。 ご指摘のとおり、中心部の活性化・にぎわいの創出には、空き家や空き店舗の活用が非常に重要な要素になると考えております。 いただいたご意見を踏まえながら、どういった活用の仕方が良いのか検討していきます。
3	市民アンケート調査	これからのまちづくりについてご意見ご要望	—	田舎ならではの良さ、海や山や川のそろった宮古市は素敵な街だと思う。自然を活かす時代にならずについでいけると、若者が住みにくい街になってしまう気がする。	宮古市の自然は、宮古市の魅力になり得る地域資源であると思います。 また、ご指摘のとおり、時代環境の変化を踏まえながら、まちづくりを進めていくことも、とても重要なことだと思います。 さまざまな視点を考えながら、今後のまちづくりについて市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。
4	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 vol.1	まちづくり方針	—	中心部にもっと活気が欲しいから子育てがもっとしやすくなれば良い(遊び場が増えて欲しい)	子育てしやすい環境づくりやまちに賑わいがうまれるような取り組みを検討します。
5	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 vol.1	誘導方針	やや良いと思う	方針5についてまちづくり方針では若者を主なターゲットとするタイトルであると考えた。6ページでは宮古市における若者の転出を課題と捉えており、掲示されたデータによるとその課題解決には「学びの場」を確保することが重要であると考えられる。このアンケートは高校生が対象であるため「求められること」にある「学びの場」とはおそらく4年制大学であると考えられる。自分は4年制大学を新たに起こすことは難しいと考えるが、方針5の目標にある「学び」にはどういった機能を考えているのか期待したい。	「学びの場」が多用化しており、必ずしも通学を前提とした4年制大学が進学の選択肢になるものではないと考えております。そこで宮古にいなながらも高等教育を受けやすい環境を整えることを目的に中心部へのサテライト機能の誘導や市外学生の研究拠点となる環境の整備といった取り組みを市民の皆様と一緒に検討していきます。
6	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 vol.1	誘導方針	良いと思う	全国各地においても同様の取組例は多いと思われます。取り入れられることはものまねになっても良いから積極的に実施していくべきです。	他市の情報も調べつつ、宮古市にどのような取り組みが求められているのか検討します。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見 ・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
7	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 vol.1	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	やや良いと思う	それぞれのエリアにどの位の人口が、定住する事を考慮しているのかを、今後提示して欲しい。	どの位人口が定住するかの想定については、今後、立地適正化計画を作りこんでいく中で、目標値としてお示ししていきます。
8	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 vol.1	その他のご意見	—	歩道がガタガタでベビーカーで通るのが難しい場所が多々ある。直して欲しい。	歩きやすく歩きたくなる道になるよう環境整備について考えていきます。
9	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 vol.1	その他のご意見	—	<ul style="list-style-type: none"> ・うみどり公園付近で簡単にでも祭りをやるのはどうか。小さい子どもは歩くのには飽きてしまうと思うが、飽きたら大きな公園で遊べるし、人も集まり良いと思う。 ・海沿いで行う祭りよりも駅前で行う祭りの方が個人的に良かったと感じた。マックにも立ち寄れるし、近くにコンビニもあり屋台側もお店側も儲かるので良いと思う。 ・バスの本数が少なく、学生が交通手段として使うのには難しい。本数が多ければ普段からバスを使おうと思うが少ないため、どうしても自家用車を選んでしまう。 ・カフェのような空間がもっと欲しい。若者はどうしてもインスタ映えを気にしてしまうため、お洒落な店に入りたがりだ。そこで、カフェで働く人を集め、インスタ映えするものを提供する祭りを開催したり、フリースペースでお腹がすいた時に買える空間を使ったりすると良いと思った。(市役所のカフェのように) ・もっと海を活かしてなにかをしたい。安全面を考えなくてはならないが、海上アスレチックのようなものができたらみんな遊びに行くと思う。フリータイムにして入場料を少しでもとれば街の利益にもなり良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なご意見ありがとうございます。イベントの内容や場所などまちなかへ賑わいをつくる事業を検討する際の参考とさせていただきます。 ・また、公共交通に関してはバスだけに限らず、車がつかえなくなっても暮らし続けられるような公共交通ネットワークのあり方について考えます。
10	宮古市まちづくりだよりVol.2	まちづくり方針	やや良いと思う	中心部までの距離があり、買い物はまとめ買いをする人も多い。その為、買い物の量が増えてしまう為、自動車での買い物になってしまう。公共交通機関について、座席間のスペースを広くとるなどし荷物を運びやすい車両にする工夫なども必要かと思えます。	利用者の視点に立った、より利用しやすい公共交通となるように、公共交通の担当課と連携しながら検討していきます。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
11	宮古市まちづくりだよりVol.2	まちづくり方針	変えた方がよい	まず、人口減少に歯止めがかからない限りどの策も功を成さない。18歳を境に人口流出が繰り返される現実はどう対処するのか。	現在、宮古市が取り組んでいる立地適正化計画は、人口が減少する未来においても、住み続けられるまちをつくるための計画です。 18歳を境にした人口の流出については、その大きな要因に大学等高等教育機関への進学がありますが、宮古市に総合大学を開校するというのは現実的ではないと考えています。 18歳を境に進学のために転出した学生が、大学卒業後に宮古市に戻ってきてもらうことを目指し、そのためのまちの魅力の向上や、雇用の創出が必要であると考えています。
12	宮古市まちづくりだよりVol.2	まちづくり方針	未回答	方針の中で人口減少が課題としながら、人口減少に歯止めをかける直接的な対策がないのではないかと。近隣市町村にないような方法を、市職員は考えられないのか。	現在、宮古市が取り組んでいる立地適正化計画は、人口が減少する未来においても、住み続けられるまちをつくるための計画です。 人口減少・少子高齢化は宮古市だけでなく多くの地方自治体が抱える問題であると認識しています。 非常に困難な問題ですので、市役所だけでなく市民の皆さんと一緒に解決に向けて取り組んでまいりたいと思います。今後ともご意見やアイデアをお寄せください。よろしく願いいたします。
13	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	少し変えた方がよい	方針4 どんな災害でも…は、災害を軽く考えてしまうのでは。予想できないあの津波。災害は想像を越えて来ます。一人ひとりが災害を学び、怖さを知り、それぞれの意思で避難する気持ちが大事かと。その為の、避難場所、避難時の方法を学ぶ。過去の災害を学び、一人ひとりが被害に合わない学習も必要かと思いました。	ご指摘のとおり、ひとりひとりが災害や防災について学ぶことは非常に大切なことだと思います。 方針4の「どんな災害でも人命を守り…」は、想定を大きく上回るような大災害については、避難をすることによって人命を守ろうという考え方です。避難路の整備や、防災について学ぶことなど正にご指摘いただいたことと同様の考え方ですが、そういった内容が伝わりづらかったかと思しますので、説明を補足します。
14	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	良いと思う	宮古に住んで10年以上になりますが盛岡との地域差がとてもあります。 釜石まで行かないとイオンは、ありません 盛岡まで行かないと買い物出来ない物もあります。一番に盛岡に行かなくても買い物出来る宮古にもイオンなど店などぜひ誘致して頂かないと車は必須になると思います。	自治体の規模が異なりますので、どうしても盛岡市との地域差を感じてしまうかもしれません。 盛岡市や釜石市でできることと宮古市でできることには違いがあります。 宮古市独自の魅力や強みを掘り起こしながら、どうすれば持続可能なまちを実現できるかを考えていきます。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見 ・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
15	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	やや良いと思う	なぜ、若者が外に出るのか？魅力がないからです。住むのが大変だから、夢が見れないから。宮古市は特定の人への恩恵が多い町だと思います。	宮古市にも独自の魅力が必ずあるはずであると考えています。現状、魅力が発掘できていないであるとか、PRができていない等たくさんの課題を抱えているがゆえに、夢を見ることのできないまちと捉えられているのではないかと思います。たくさんある課題を市民の皆さんと共にひとつひとつ解決していくことで、宮古市を、夢をみることのできるまちに変えていけるのではないかと思います
16	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	変えた方がよい	課題とまちづくり方針にズレがある、連動していない。	1から5まで課題を挙げて、そこから、課題解決のための誘導方針(ストーリー)と、まちづくり方針(ターゲット)というように順序立てて考えておりましたが、うまく表現できていませんでした。他にもまちづくり方針に関するご意見を頂戴しておりましたので、見直しを行いたいと考えています。
17	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	良いと思う	若者が地元で働けるよう、専門学校等を宮古設立出来れば良いと思う。そこから市内の就職先への紹介が出来れば、地元に残って働く人が少しでも増えるのでは。交通の便も良くなったので、盛岡や近くの沿岸地域等から通う人も出てきてくれるのでは。	若者活躍について、教育の段階から宮古市内で担っていくという非常に重要な視点でのご意見だと思います。立地適正化計画の中で「教育に関する施設」を中心地に誘導する施設として位置づけ、重点的に取り組みを進めていきます。
18	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	少し変えた方がよい	特に気になるのは方針4。避難場所の整備や避難所運営のノウハウ等、本気で考えているのか不安。震災から12年も経っているのにホントに実現に向けて動いているのか？人命を守るには全ての部、課が連携し一つにならなければ実現しない。まだまだ、準備が足りないと思う。12年間、何をやってきたのか？	甚大な災害から人命を守るために市役所内の全ての部・課が連携しなければならないというご指摘は、全くその通りだと思います。また、まちづくりの側面からも防災というのは非常に重要な要素ですので、これからも市民の皆さんが安全安心に生活できるように取り組んでいきます。
19	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	やや良いと思う	中心市街地の拠点としての機能強化とありますが、今のままでは本当に街の中心が弱すぎる	中心市街地について、各店舗ごとの取り組みはもちろんですが、どうしたらにぎわいのある魅力的な中心市街地にしていけるのか、まちづくりの観点も踏まえて、市民の皆さんと共に考えていきたいと思っています。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見 ・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
20	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	やや良いと思う	市職員、教育関係、地域の活動、家庭環境、すべてに活気が欲しいところです。楽しめる場所、会話できる場所、意欲をもち挑戦できる場所、希望と夢をもてる場所、安心、安全な場所⇒宮古でありたい。	地域の課題解決において、活気やにぎわいというのは重要な要素であると思います。 また、楽しめる・会話・挑戦・希望・夢・安心・安全など活気やにぎわいにつながる素晴らしいワードだと思っています。 こういったことが市民の交流の中から生まれてくるような、まちを目指していきます。
21	宮古市まちづくりだよりVol.2	誘導方針	やや良いと思う	若人の意見を聞く。(小さなイベント等(軽トラ市、元気市とにかく、人が集まる事を考える。(中央から何事も	若い世代の意見を聞くということは、とても重要であると認識しています。 パネル展やまちづくりだよりだけでなく、SNSを活用した若い世代に届くPR方法を検討・実施していきたいと思っています。 また、人が集まることもとても大切だと思っています。交流や活気・にぎわいにつながるような人の集まりや集まることのできる場所について検討していきます。
22	宮古市まちづくりだよりVol.2	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	変えた方がよい	大型店が入らない限り変わらないとおもいます 駅付近がつまらない	宮古市の中心地である駅付近の魅力の向上や、それに伴うにぎわいや活気等は、持続可能なまちづくりにおいて、欠かすことのできない課題であると認識しています。 大型の商業施設というのも解決策のひとつであると思います。また、宮古市の風土や文化に帰属する独自の魅力も存在するのではないかと考えています。 今後も、様々な角度から検討を重ね、課題解決に取り組んでいきます。
23	宮古市まちづくりだよりVol.2	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	少し変えた方がよい	今の土地状況では内陸方面の盛岡や北上などのような平らな土地の確保が出来ず、新たな産業施設や商業施設進出、居住地の確保が難しい為、これからの発展が厳しいと思います。 畑の空き土地や比較的傾斜の少ない山林を開拓し、土地の確保が必要だと思います。	ご指摘のとおり、宮古市は平地が少なく、それによって様々な問題を抱えております。 人口減少が進む中で、山林の開拓による新たな土地開発というのは難しいかもしれませんが、ご意見にある耕作放棄地や空き地などの活用については、検討する必要があると思います。
24	宮古市まちづくりだよりVol.2	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	少し変えた方がよい	医療や福祉の施設は小規模でも重茂や川井にも整備できればいい	現在、医療施設については、重茂には県立宮古病院重茂診療所が、川井には川井診療所がございます。 こういった中心地以外の地域の拠点についても、医療・福祉だけでなく、今ある生活サービス施設を維持していけるように取り組んでまいります。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
25	宮古市まちづくりだよりVol.2	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	変えた方がよい	この図がよくわからない。地域拠点、生活拠点の違いも曖昧。例えば、田老と重茂の違いがわからない。公共交通軸はどれをさしているのかわからない。	地域拠点は、その区域内に生活に必要な生活サービスを維持・誘導するエリアであり、生活拠点は地域における生活利便性やコミュニティが持続的に確保されるよう居住を維持・誘導するエリアというように分けて考えております。 公共交通軸については、沿岸側の縦軸が三陸沿岸道路であり、横軸が宮古盛岡横断道路です。 図がわかりにくかったということで大変申し訳ありませんでした。今後は皆さんにご理解いただけるようわかりやすい図で情報発信するように心掛けたいと思います。
26	宮古市まちづくりだよりVol.2	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	良いと思う	自然、田園環境保全ゾーンに、それを活かした青少年の家のような、子供が自然を学び体験できる施設があれば、市外からもよりの人が集まるのでは。	田園環境保全ゾーンについても、その地域特有の資源を生かした施設や取り組みを検討していきます。
27	宮古市まちづくりだよりVol.2	目指すべき都市の骨格構造(イメージ)	やや良いと	老木というところに住んでおります。今だに公共交通(県北バス)なし!で、各家庭に車1~2~3台で、CO2排出しております。今、今、車も運転できなくなり、少ない年金でタクシーを利用している状態です。中心地は良いかもしれませんが、はずれの地に住んでいる者にとっては、本当に考えてくれているのかと(いろんな面で)思うことがありますので。どうか、少人数の所こそ、たいへんさ、生活がなりたっていけないことを理解していただきたいです。	高齢により自動車の運転が困難になり、生活しやすさが著しく低下するという事は、中心部以外の地域で多く見られる問題であります。 バス路線を新たに作ることや、本数を増やすことなどは難しいかもしれませんが、地域バスやデマンドバスのような形態の新しい公共交通により解決策を考えていく必要があると思います。公共交通の担当課と共有し、検討していきます。
28	宮古市まちづくりだよりVol.2	その他のご意見	—	宮古市がどのような未来に向かって行くのか、具体的指針と、総合計画を示して欲しかった。	まちづくりだよりvol.2の段階では具体的な部分まで掲載していませんでしたが、まちづくりだよりvol.3では、区域や施設、事業など、より具体的な内容を掲載しています。 また、宮古市の未来に向けた総合的な視点については、まちづくり方針であるとか、誘導方針という形で表現していたところです。まちづくり方針については、様々なご意見をいただきまして、現在、見直しを図っているところです。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見 ・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
29	宮古市まちづくりだよりVol.2	その他のご意見	—	キャトルや磯鶏の広い跡地をこれからどう活かしていくのか楽しみにしています。 私事ですが、最近不妊治療で盛岡に通っており、市内にも専門の施設があったら良かったなと感じております。仕事を休んで頻繁に通わなければならないので、諦めてしまう方も多数いらっしゃるのではないかと思います。子供を増やす・若者を増やす取り組みに、難しいかと思いますがそのような専門の病院や施設も増えると多方面から市内へ足を運ぶ方も増えるのではないかと思います。 これからも市内で暮らしていく予定ですので、まちづくり頑張ってください。	市内に専門的な医療機関が無いために、通院の度に、市外へ長時間かけて移動しなければならないというのは、大変な負担だと思います。 我々も、そのことについては、解決しなければならない課題であると認識し、立地的適正化計画の中でも「市内に診療科が少ない病院」を中心部に誘導する施設に位置づけて、重点的に取り組んでいきたいと考えています。
30	宮古市まちづくりだよりVol.2	その他のご意見	—	グリーンピア三陸みやこの外のテニスコートが勿体ないです。ハードコートにしたみたいですが、今の時代ハードコートの需要があまりにもないです。今、夜の小山田コートの利用が多くて、思うようにテニスコートを利用できません。小山田コートのようにオムニコートだったらグリーンピア三陸みやこのコートを使う人が必ず増えます。ナイター設備も必要ですが。 また、コートをおムニにすることで、大きな大会を開くことができ、その関係で宿泊してもら得る可能性もあります。そうすることでホテルの利用者を増やすことができます。	スポーツの大会やイベントから宿泊客を増加させるという視点は非常に重要であると思います。 テニスコートに限らず、いろいろなスポーツ施設について利用者のニーズを調査しながら、アップデートを検討していきたいと思えます。
31	宮古市まちづくりだよりVol.2	その他のご意見	—	この方針をみていると現在の居住者に対する方針で新たな人流を増やすものにはならないと思う。資源を活かしつつ、チャレンジする姿勢が伺えない。広大な土地利用(新里、川井地区)タイムリーな施設造りが必要なのではないかと。せつかく整備した利便性の高い交通網を活かすべき。例えばフェス会場を作り音楽フェス等を誘致する事でそれに付随するもの(ホテル、グランピング施設、キャンプ場、テントサウナ等)更に飲食や土産物等の出店と連動する事で全国の若者が移動する。会場から沿岸観光へ誘導することも可能。とにかくスピード感が足りない。	立地適正化計画では、現在の居住者の日常的な部分を持続可能にしていくことを重要視しています。 一方で、観光等の新たな交流人口の維持・増加も必要不可欠であると考えています。 数年前に宮古市でも音楽フェスが開催されていましたが、非常に多くの市外の方に来ていただいた記憶があります。 こういった素晴らしい催しなどを参考にしながら、スピード感を持ってチャレンジしていきます。

持続可能なまちづくりについての市民の皆さまからのご意見と事務局の回答の一部ご紹介

No.	アンケート区分	評価対象	評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見 ・ご感想(原文のまま引用)	ご意見に対する事務局の回答
32	宮古市まちづくりだよりVol.2	その他のご意見	—	<p>○元キャトルのたて物を早くとり壊して、新しいたて物をたててほしい。そうでないと治安が悪いし、すたれていく町の象徴みたいになってしまっている。</p> <p>○大きな企業、工場を誘致して、働く場所を確保してほしい。</p>	<p>現在、旧キャトル店舗建物については解体に向けて取り組んでいます。</p> <p>また、働く場については、人が住む場所を決める上で、最も重要な要素のひとつであると認識しています。</p> <p>企業誘致に関する担当課と協力しながら取り組みを進めていきます。</p>

※皆様のからのご意見については、なるべく書いていただいた通りの表現で記載しています。